

## 令和4年度障がい者の実態・ニーズに関する調査 自由記載の集計について

米子市に在住する障がいのある人、その家族及び支援者のニーズを把握し、支援プランに反映させるため、集計を行いました。そのなかでも設問の最後に設定されていた自由記載への回答について、内容ごとに項目に分類し、件数を集計しました。

自由記載は、「本人」「家族」「支援者」ごとに記載するように設定されているため、それぞれ集計を行い、回答者の立場の違いから見える特色を以下のようにまとめました。

### 1 自由記載（本人）

本人の自由記載348件を項目ごとに分類したところ、主な項目は以下のような結果でした。

①サービスなどの広報	45件	⑤障がい理解について	18件
②一般企業などへの就業関係	30件	⑥サービスについて	17件
③金銭面での不安、願望	25件	⑦成年後見制度	15件
④相談窓口	24件	⑧交流について	13件

#### ①サービスなどの広報について

障がい福祉サービスの種類や利用方法について、分かりやすく教えてほしい、という回答が最も多く、情報提供の方法、媒体などについて検討が必要なが分かります。

#### ②一般企業などへの就業関係について

自分の特性や状態に応じた仕事に就きたい、という回答が多く見られ、また、障がい特性から新型コロナウイルス感染拡大を契機に広まったテレワークのさらなる普及を望む意見もありました。

#### ③金銭面での不安、願望について

利用したいサービスがあるが金銭面での負担がある、その解決のために賃金向上や一般企業での就業を目指したい、といった意見がありました。

#### ④以降

④困りごとを相談できる窓口を知りたい、⑤職場や社会のなかで障がいや障がい者をもっと理解してほしい。などがありました。

### 2 自由記載（家族）

家族の自由記載200件の分類結果は、以下のとおりです。

①将来不安	24件	⑤親亡き後について	14件
②サービスなどの広報	21件	⑥サービスについて	13件
③成年後見制度	16件	⑦交流について	9件
④グループホーム関係	15件	⑧障がい理解について	9件

結果を本人の自由記載と比較すると、項目はどちらでも見られるものが多いですが、視点が異なることが分かります。

①将来不安、③成年後見制度については、家族が抱える思いや福祉行政に対する要望が明確に表れた結果となっています。

これは、④グループホーム関係、⑤親亡き後についての意見にも共通している意見であり、市として課題解決に取り組む必要があります。

その他、家族ならではの回答として、障がい当事者の医療受診拒否に関する記載も複数件ありました。

### 3 自由記載（支援者）

支援者からの回答は、合計 13 件でした。

内容としては、移動支援や行動援護を行う事業者やヘルパーの不足についての回答など、支援する側からの意見がありました。